

長畑ひろのり News vol.091



(C) 2013 Kohama Studio

今期より議員定数が4人削減で12人となり、厳しい選挙戦となりましたが、皆様のお陰で当選することが出来ました。



つきましては、この“長畑ひろのり News”にもお礼を書きたいのですが、選挙後の挨拶行為が公職選挙法第178条により制限されており、違法行為となりますので出来ません。同様に、事務所にもお礼の張り紙をしませんでしたがご了承下さい。3期目も、市民皆様方のために市政において精一杯頑張りますので、多くのご意見を頂ければ幸いです。

今期も市政報告を配布

3期目も今まで同様、毎月“長畑ひろのり News”を発行させていただきます。その印刷についてですが、今までは、私の事務所で輪転機を使い自分で印刷していたのを、試行として89、90号は業者にカラー印刷を頼みました。その結果、内容がわかりやすくなったとの声を沢山頂きましたので、今後もカラー印刷で発行することにしました。

実は、1期目の最初の年に購入した一色刷りの輪転機が、年数が経ち部品調達すら出来なくなっています。つまり、壊れると修理が出来ない状況なのです。

そこで、3期目の計画では、すぐに政務活動費(事務機器のリース料については50%以内を適用)を使い二色刷りの輪転機を新たにリースし、わかりやすい市政報告の発行を考えていました。しかし、業者によるカラー印刷をした価格と、二色刷りの輪転機をリースした上でインクや用紙を購入し自分で印刷するのとを比べれば、業者の方が安価であることがわかりました。結果、市民皆様方の税金である月4万円の政務活動費の中から、約1万円を市政報告の作成に使うこととしましたがご理解下さい。但し、郵送やポストイングにかかる費用は政務活動費から別途使用させていただきます。

予算的には以上ですが、印刷を発注して仕上がるのに日数もかかりますし、提出する原稿データの書式に規定があり、今まで以上に手を加えて作成しなければなりません。これまでと違って費やす時間が多くなりますが、同時に、内容の充実をはかる努力を続けていきますので宜しくお願いします。

市議会議員選挙の結果

改めて統一地方選挙の結果による、市議会議員の当選者を得票数の多い順でお知らせします。また、以下にこの選挙を通じて私が感じたことを書かせて頂きます。

1位	渡辺 裕	3,411票	3期目	無所属
2位	大矢 克巳	2,752票	2期目	大阪維新の会
3位	島 弘一	1,745票	2期目	無所属
4位	瓜生 照代	1,516票	4期目	公明党
5位	岸田 敦子	1,446票	5期目	日本共産党
6位	長畑 浩則	1,439票	3期目	無所属
7位	曾田 平治	1,414票	4期目	公明党
8位	森本 勉	1,394票	2期目	無所属
9位	小原 達朗	1,352票	5期目	公明党
10位	吉田 裕彦	1,263票	2期目	無所属
11位	大川 泰生	939票	11期目	無所属
12位	藤本 美佐子	880票	2期目	無所属

今回の立候補者数は16名で、前回の24名より大幅に減りました。理由は、現職が必ず落選する非常に厳しい選挙であったのと、以前より立候補に意欲のある方は、平成25年12月1日執行の補欠選挙に出馬されていたのだと考えます。結果として、当選者は全員現職となりました。

また、投票率につきましては、前回(平成23年4月24日執行)は54.19%であったのが、今回は47.67%と非常に悪い数字でした。これも、立候補者数が減ったことが大きな原因の一つと考えますが、有権者の選挙離れがいつそう深刻になってきたことに問題を感じます。

高所作業用消防車が稼働

高所作業用消防車を大東四條畷消防組合が購入し、8月より中高層建築物の消火活動に使用

平成26年4月1日に消防の広域化により大東市と四條畷市の消防が合併し、大東四條畷消防組合となって一年が経過しました。本市における広域化の主なメリットは、経費の削減、田原地区における活動の是正です。(裏面へ続く)

約半年ごとに、毎月発行している“長畑ひろのり News”を送っています。送付の必要な方は、送付先をFAXもしくはe-mailにてお知らせ下さい。

長畑ひろのり事務所 FAX 072-877-1280
e-mail sky@nagahata.jp



経費の削減につきましては、119番通報を受信する消防緊急指令施設や消防救急デジタル無線整備といった臨時的経費とはなりますが、すでに効果が現れています。

田原地区の活動につきましては、合併前は田原分署への人員配置の関係で、消防車が出動すると急患でも救急車が出動できず離れた場所にある消防本部の救急車で駆けつけていました。しかし、現在では消防車が出動しても分署から救急車が出動できるようになりました。また、他地区においても同時火災の対応力がアップしています。

この間、本市にとり合併で最大のメリットであった大東市の所有していたハシゴ車、それが平成9年2月の購入で、平成28年度には買い換えなければならないことが判明し、私自身、議員として調査不足と反省しています。また、ハシゴ車が本市内では思った以上に使えない点もわかり、改めて対応を求めてきました。……(平成26年12月議会にて)

この件に対して行政は、6階以上の高層建築物が本市内には46棟あるが、ハシゴ車が大き過ぎるために消火活動に使用できるのは25棟。しかし、7階以上には消火のための消防設備が別途設置されており、ハシゴ車が接近できない場合にも対応できる、でした。



しかし、画像の高所作業用消防自動車(LT車)の導入が決定し、8月より稼働することになりました。このことにより、高層建築物に直接の消火活動は無理ですが、中高層建築物の消火活動が大きく前進することとなりました。

参考としてハシゴ車や、導入されるLT車のサイズ等を記します。ちなみに、四條畷市内に4~5階建ては136棟あり、3階建ては1,560棟あります。

	長さ	幅	最高到達点
ハシゴ車	1060cm	249cm	40m (12階)
LT車	700 (560) cm	192cm	17m (5階)
畷救助	780cm	230cm	—
畷ポンプ	578cm	190cm	—

※ LT車の長さにつきましては、画像の運転席上部にあるバスケットを含むサイズを示し、括弧内は車両のみの長さとなります。

3月定例議会における一般質問

・ノベルティ用や徽章のピンズについて

今年7月4日に行われる四條畷市制施行45周年記念式典に向けて、谷口智則観光大使のデザインによるピンズ(ピンバッジ)を作成する提案をしました。市民の皆様方に、郷土愛を育てて頂く一助になればとの考えです。また、デザインを少し変えるなど工夫をこらしながら、市民マラソン大会や他の事業における参加記念品として、配布するのとも良いと思います。



※上の画像は、谷口氏がデザインをした本市「くらしのガイド」の表紙を利用し、私が作成したものです。

次に、市職員が着用している徽章について質問をしました。

【長畑質問】若い職員が着けているのを見たことがないが。

【行政答弁】課長クラスになってから配布し着用を義務付けている。理由は、使用頻度が少なかったのと費用対効果。

【長畑質問】新規採用時、全員に配布した場合のかかる費用は。

【行政答弁】20人に配布した場合、24,840円必要。

【長畑質問】その程度の効果額であるならば、本市に愛着を持って頂き公務員となった自覚を促す方が重要ではないか。市に採用された時点で全員に配布し着用を義務付けるべきと要望する。



部長クラスの徽章
@1, 620円



課長クラスの徽章
@1, 242円

・生駒市へのリニア駅誘致協力について

生駒市リニア駅誘致については、協力や応援をし、具体的な行動に向けて議論を重ねていく。

昨年3月議会における私の一般質問において、リニア誘致の件を市長に質問しましたが、その時の市長答弁は「生駒市に仮に来る確率が、かなりの確率として上がってきた場合には、本市としては当然積極的な応援もする必要がある」と述べる程度で積極的な発言はありませんでした。確率を上げるために応援をして頂きたかったのですが、残念な内容でした。

ところが、一年後の今回は「庁内調整のもと、協力、応援する方針を示し、具体的な行動に向けての詰めた議論を重ねていくことと決しております」と前向きな答弁を頂きました。**私の一年かけた努力も実り、誘致へやっとスタートします。**

また“本市が先頭に立ち、北河内7市が一致団結し生駒市誘致に協力する”ことに関しても質問しました。この件についても、北河内の市長会や副市長会、部課長で組織する都市連絡会などを通じ生駒市の意向を伝えて頂けるということです。